

ナラ枯れ病経過報告 II

いや～まいったなあ～～！

花広場の林寄りに立つ、ここのシンボルツリーとも言えるコナラの木。7月にナラ枯れ病にやられて葉っぱが全部茶色になって枯れそうだったが、本当に枯死してしまったかもしれない。茶色の葉っぱは、ちぢこまっているし、根本から10メートルぐらいの高所ではフラスが流れ出ているし、根本周りにも米ぬかを一面に撒いたかのようにフラス(糞と木屑が混ざったもの)が覆っている。隣に立つやや細いコナラも道連れにされている。

林内のコナラも同じ状態だ。この木には毎年カブトムシやクワガタや時には蝶がやってきて樹液を吸っていたが、今年は全く寄り付かない。花広場の腐葉土溜まりにはカブトムシの幼虫がうじゃうじゃ入っているのに、成虫になっても行き場がなからう・・・

中央広場では、慌てて仕掛けたトラップに、カシノナガキクイムシが20匹ほどかかっていた。4、5mmほどの茶色い長方形の虫だ。トラップを付けなかった径30cm弱のコナラは、根本から1.5m

ほどの高さまで、木周りに小さな穴が開けられ、穴の中からフラスが飛び出て、穴の周囲にくっ付いている。

このままでは広場のコナラは太さに係わらず全滅してしまう。

北西斜面も深刻だ。なんと、シラカシが2本もやられている。高さ8メートルぐらいまで、びっしり2ミリほどの穴が開き、そこからフラスが吐き出されている。ここの樹木たちは、いずれも大径化し、過密状態だ。毎年一本ぐらいずつ、老木化や台風や芯喰い虫によって倒れているが、今年は何本倒れてしまうのか。

私たちもただ手をこまねている訳にはいかない。緑地の木を救うお願いの手紙を市会議員事務所やタウンニュースに送った。

タウンニュースはすぐに取材に来てくださり、8月19日号の一面に掲載された。議員の方の何人かからもお電話を頂いた。

町田市全体のナラ枯れ病対策がこれをきっかけに前進する事を心から願う。

(かつた)



幹にいっぱい穴が空いて
痛々しいコナラ



トラップにかかったカシ
ノナガキクイムシ